



口腔アレルギー症候群

No.82

口腔アレルギー症候群とは？

最近、増加している新しいタイプの食物アレルギーです。ほぼ全年齢に認められ、特に成人女性に多いと言われています。花粉症の人が、果物や野菜などを食べた時、直接触れた唇や舌がヒリヒリしたり、痛みを感じたり、ノドがかゆくなったりイガイガしたり、腫れることもあります。

ひどくなると、じん麻疹が出たり、目や鼻に花粉症のような症状が出たり、吐き気、腹痛、下痢、気管支喘息の発作を起こすこともあります。最悪の場合は、アナフィラキシーショックを起こし意識を失う重篤な症状になることがあります。このような症状を口腔アレルギー症候群といいます。

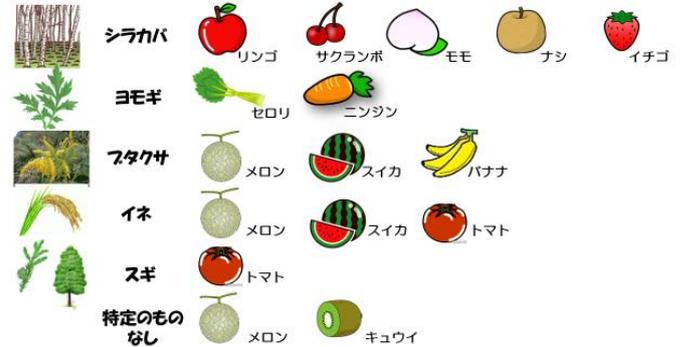
どうして花粉症の人に起こるのでしょうか？

花粉症を引き起こす原因になるタンパク質(アレルゲン)、特にシラカバ花粉などに含まれるアレルゲンの構造が、フルーツや野菜、ナッツなどの植物性の食物に含まれるタンパク質の構造と共通しているからです。これらの食物を摂取すると、口腔内でアレルギー反応が生じて、症状を引き起こすようになります。



ラテックス(天然ゴム)を含まない手袋もあります。

口腔アレルギー症候群



ラテックス・フルーツ症候群

ラテックスの手袋でも同様な事が起こります。

果物や野菜に含まれるアレルゲンと類似構造を有するラテックスアレルゲンが反応するためです。

ラテックス(天然ゴム)を含んだ手袋を着けた歯科医師が、口腔アレルギー症候群の患者さんのお口の処置をすると、手袋で触られた部分の粘膜がヒリヒリしたり、腫れたりすることがあります。

受診の時には

重篤なショックを起こすこともありますので、食物アレルギー(特にアボカド、バナナ、クリ、キウイなど)に心あたりのある方は、治療を受ける前に、申し出てください。仕事でゴム手袋を頻繁に使う方、ゴム製の医療機器を使用した処置をよく受ける方(点滴、透析など)も、申し出てください。ラテックスを含まない手袋を使用して治療を行います。

また、診療中に気分が悪くなったり、いつもと違う不安を感じたら、すぐに申し出てください。



一般社団法人

柏歯科医師会



http://kashiwa.cda.or.jp/
Email : kda@kamukamu.or.jp